

第62回群馬県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

(書面開催)

日時：令和3年9月28日(火)

1 議 事

- (1) 「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」に基づく
10月1日(金)以降の要請について

(配付資料)

資料1

- ・「社会経済活動再開に向けたガイドライン(改訂版)」に基づく10月1日(金)以降の要請(案)

資料2

- ・各部局からの報告事項について

「社会経済活動再開に向けたガイドライン（改訂版）」に基づく 10月1日（金）以降の要請について

府対策本部会議の決定を受け、本県への緊急事態措置が解除となったことから、10月1日（金）以降「社会経済活動再開に向けたガイドライン（改訂版）」に基づき、別紙(案)のとおり要請を行う。

10月1日～10月7日までの要請 (案)

R3.9.28 危機管理課

市町村	警戒度	県民への要請	事業者への要請	
		外出	時短要請 (10/1～10/7)	その他
全市町村	警戒度 4	<ul style="list-style-type: none"> ・日中も含めた不要不急の外出自粛 ・県外との不要不急の往来は、自粛 	<p>【区域】 35市町村</p> <p>【業種】 接待を伴う飲食店、カラオケ店及び酒類を提供する飲食店</p> <p>【時間】 午後8時（酒類提供は午後7時まで）から午前5時 ※ストップコロナ！対策認定店の特例あり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設・病院における直接面会禁止 ・テレワーク等により出勤者の7割減を目標

10月1日～10月7日までの要請 (案)

R3.9.28 危機管理課

市町村	警戒度	イベント開催 (10/1～10/30) ※経過措置	
		収容率	人数制限
全市町村	警戒度 4	大声での歓声、 声援等がないこと を前提とするもの 飲食を伴うが発声 がないもの	大声での歓声、 声援等が想定さ れるもの 5,000人 又は 収容定員50%以内 (≦10,000人) のいずれか大きいほう
		100%以内	50%以内
※詳細は別添のとおり (収容率又は人数制限の小さいほう)			

群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン（改訂版）」に 基づく要請について（案）（10月1日（金）以降）

1 要請を開始する日

令和3年10月1日（金）

要請期間：10月1日（金）0時～10月7日（木）24時

営業時間短縮要請期間：10月1日（金）0時～10月7日（木）24時

イベント等の開催、参加の取扱いに係る期間（経過措置）：

10月1日（金）～10月30日（土）

2 要請する区域

群馬県内全域

3 ガイドライン警戒度

警戒度「4」：35市町村

【参考】ガイドラインにおける「4段階の警戒度と行動基準」

＜4段階の警戒度と行動基準＞						
警戒度	個人			事業者		【参考】 学校
	外出	県外移動	イベント	休業等	勤務形態	
4	×	×	×	・感染拡大の恐れのある業種の施設等への休業要請や営業時間の短縮要請 ・高齢者施設や病院等での面会の禁止	テレワーク(7割目標)、時差出勤等を強く推奨	・感染状況等に応じて学校単位もしくは地域や全県で休業等(部活自粛)
3	△	△	△	・感染防止対策がとられていない施設等への休業要請 ・高齢者施設や病院等での面会の禁止	テレワーク(5割目標)、時差出勤等を推奨	・学校単位で分散登校、授業短縮、時差登校等(部活一部制限) ただし感染状況等によっては通常登校
2	△	感染拡大都道府県は注意(特に拡大している場合は慎重に判断)	△	・高齢者施設や病院等での直接面会は十分注意(オンライン面会等の推奨)	テレワーク(3割目標)、時差出勤等を推奨	通常登校 ただし感染状況等に応じて学校単位で分散登校等
1	○		△	別表による	テレワーク、時差出勤等を推奨	通常登校

※1 全段階で「新しい生活様式」を実践、多様な感染防止対策(業界ごとの感染防止ガイドラインなど)を徹底
※2 感染状況や国の基本的対処方針に基づき、部分的に上位の警戒度の要請等を行う場合あり

※具体的には4以降の要請をご確認ください。

4 県民の皆様への要請

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、以下の事項について協力を要請します。

(1) 外出・県外移動について

- ・生活に必要な場合を除き、**日中も含めた不要不急の外出を自粛してください。**
- ・県外との不要不急の往来は自粛してください。
- ・**混雑している場所や時間を避けて少人数で行動してください。**
- ・外出の際は「(3) 「新しい生活様式」等の実践について」に掲げる事項を厳守してください。

(2) イベント等の開催、参加について

- ・業種別ガイドラインの見直しを行っていない場合
 - 【屋内】 5,000人以下、かつ収容定員の半分以下の人数にすること。
 - 【屋外】 5,000人以下、かつ人と人との間隔を十分確保すること。
(できるだけ2メートル)
- ・業種別ガイドラインの見直しを行い、必要な感染防止策が担保され、感染防止上の取組が公表されている場合は、以下のとおり開催制限を緩和します。
 - 【参加人数】 次の人数上限及び収容率要件による人数のいずれか小さい方を限度とします。

【人数上限】

ア 収容定員が設定されている場合

「5,000人又は収容定員の50%のいずれか大きい方」又は「10,000人」のいずれか小さい方を上限とします。

(この場合、収容定員が10,000人以下の場合は5,000人となり、収容定員が10,000人超20,000人以下の場合は収容定員の50%となり、収容定員が20,000人を超える場合は10,000人となります。)

イ 収容定員が設定されていない場合

次の【収容率要件】、ア、イにおける「収容定員が設定されていない場合」の例によります。

【収容率要件】

ア 大声での歓声、声援などが無いことを前提としうる場合

収容率の上限を100%とします。

(ア) 参加者の位置が固定され、入退場時や区域内の適切な行動確保ができる場合は、収容定員までの参加人数とします。

(イ) 参加者が自由に移動できるものの、入退場時や区域内の適切な

行動確保ができる場合

- ・収容定員が設定されている場合は、収容定員までの参加人数。
- ・収容定員が設定されていない場合は、密が発生しない程度の間隔（最低限、人と人が接触しない程度の間隔）を空けることとします。

なお、参加者が自由に移動でき、かつ、入退場時や区域内の適切な行動確保ができない場合は、「祭りなどの行事の開催について」によることとします。

[大声での歓声、声援などが無いことを前提としうるイベントの例]

音 楽	クラシック音楽、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート
演 劇 等	現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス等
舞 踊	バレエ、現代舞踊、民族舞踊等
伝 統 芸 能	雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞等
芸 能 ・ 演 芸	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術等
講 演 ・ 式 典	各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式等
展 示 会	各種展示会、商談会、各種ショー
そ の 他	映画館、美術館、博物館、動植物園、水族館、遊園地等

※個別のイベントの実態にあわせて判断

イ 大声での歓声、声援などが想定される場合

収容率は、次のとおりとします。

(ア) 参加者の位置が固定され、入退場時や区域内の適切な行動確保ができる場合

- ・異なるグループ又は個人間では、座席を一席は空けることとしつつ、同一グループ（5人以内に限る。）内では座席等の間隔を設ける必要はありません。この場合、参加人数は、収容定員の50%を超えることもありうる。

(イ) 参加者が自由に移動できるが、入退場時や区域内の適切な行動確保ができる場合

- ・収容定員が設定されている場合は、収容定員の50%までの参加

人数とします。

- ・収容定員が設定されていない場合は、十分な人と人との間隔（1m）を空けていること。

なお、参加者が自由に移動でき、かつ、入退場時や区域内の適切な行動確保ができない場合は、「祭りなどの行事の開催について」によることとします。

[大声での歓声、声援などが想定されるイベントの例]

音 楽	ロックコンサート、ポップコンサート 等
ス ポ ー ツ イ ベ ント	サッカー、野球、大相撲 等
公 営 競 技	競馬、競輪、競艇、オートレース
公 演	キャラクターショー、親子会講演 等
ライブハウス ナイトクラブ	ライブハウス・ナイトクラブにおける 各種イベント
そ の 他	遊園地（絶叫系のアトラクション）

※個別のイベントの実態にあわせて判断

- ・祭りなどの行事の開催について

ア 祭り、花火大会、野外フェスティバル等で、全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや、参加者の把握が困難なものについては、延期又は中止を含めて慎重に検討・判断してください。開催する場合は、十分な人と人との間隔（1m）を設けることとし、当該間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に判断してください。

イ 盆踊り等の地域の行事で、全国的又は広域的な人の移動が見込まれないものや、参加者がおおよそ把握できるものは、参加人数の制限はありません。適切な感染防止策を講じて開催してください。

- ・イベントの開催にあたっては別表に掲げる適切な感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定する場合には、そのイベントの感染防止策等について県に事前相談してください。
- ・主催者が存在しない中で多数の人が集まる季節の行事（ハロウィン、クリスマス、大晦日、初日の出等）に参加される場合は、基本的な感染防止策を徹底してください。また、基本的な感染防止策が徹底されていない季節の行事への参加は控えるとともに、特に、自然発生的に不特定多数の人が密集し、かつ、大声等の発生を伴う行事、パーティー等への参加は控えてください。

(3)「新しい生活様式」等の実践について

- ・「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いによる手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- ・政府専門家会議で示された「人との接触を8割減らす、10のポイント」「新しい生活様式の実践例」、及び新型コロナウイルス感染症対策分科会で示された「感染リスクが高まる「5つの場面」」を参考に、3つの「密」状態を回避するとともに、日々の生活を見直し、新たな感染防止策を実践してください。
- ・感染防止策として、基本的な感染防止対策の実施に加え、換気の実施及び適度な保湿をお願いします。

(4)その他

- ・変異株に対しても基本的な感染防止対策（マスク・手洗い・換気など）が重要であり、更なる徹底をしてください。
- ・飲食店などにおいて大声で話したり、カラオケ、イベント、スポーツ観戦などで大声を出したりすることは自粛してください。
- ・友人、知人を招いてのホームパーティーや大人数での会食、飲み会は自粛してください。
- ・大学等におけるクラブ活動での感染防止策の徹底をお願いします。
- ・飲食店を利用する場合は、可能な限りテイクアウトの利用をお願いします。
- ・会食などで飲食店などを利用する場合は、座席間隔の確保や換気などの3密予防、従業員や利用者の手指消毒といった感染防止策に積極的に取り組んでいる店舗を利用してください。
- ・接触確認アプリ（COCOA）のインストールやLINE「新型コロナ対策パーソナルサポート」を積極的に活用してください。

5 事業者の皆様への要請

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、以下の事項について協力を要請します。

(1) 営業時間短縮要請について

- ・対象市町村の店舗については、次のとおり営業時間の短縮をお願いします。

対象市町村	【令和3年度第4弾】35市町村
対象業種	接待を伴う飲食店、カラオケ店及び酒類を提供する飲食店 ※午後8時から午前5時までの営業店舗 ※飲食店営業許可(食品衛生法)を受けている店舗の事業者を対象(※3)
時間帯	午後8時から午前5時 (酒類の提供は午前11時から午後7時まで)
期間	【令和3年度第4弾】 令和3年10月1日(金)0時から10月7日(木)24時までの7日間

※1 ストップコロナ!対策認定店の取扱い

当該店舗は、県からの制度への参加要請に賛同し、感染防止対策への意識も高く、業界のガイドラインに沿った感染防止対策が徹底されていることを確認したものであり、感染リスクが極力抑えられていることから、次のとおり取り扱うこととします。

- 午後8時から午前5時までの営業時間の短縮要請を行いますが、引き続き、適切な感染防止対策を徹底することで通常どおり営業することが出来ます。
- ただし、認定店であっても接待を伴う飲食店は、営業時間の短縮を要請します。

※2 感染状況により期間の延長を行う場合があります。

※3 飲食店営業許可を受けた結婚式場を含む。

- ・飲食を主として業としている店舗及び結婚式場においては、カラオケ設備の提供を自粛してください。
- ・カラオケボックス等の飲食を主として業としていない店舗において、カラオケ設備の提供を行う場合、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染防止対策の徹底をお願いします。

(2) 感染防止対策の徹底について

- すべての事業者において、別表で掲げる感染防止対策例や、業界団体等で作成した感染拡大予防ガイドライン等を踏まえながら、適切な感染防止対策の徹底をお願いします。また、感染防止対策をホームページやSNS、店頭での掲示などにより利用者に明示してください。
- 県独自の「ストップコロナ！対策認定制度」への申請・登録を積極的に進めてください。
- 業界団体等においては、業種や施設の種別ごとのガイドラインを作成し、所属事業者や関係事業者へガイドラインに沿った感染防止対策の徹底を促すようお願いいたします。
 - ※1 政府が公表している「業種別ガイドライン」や、本県が示す「各業界・施設毎の感染症対策ガイドライン作成例」を参考としてください。
 - ※2 業界団体からガイドラインが示されていない業種の事業者や、業界団体等が存在しない業種の事業者についても、上記のガイドラインを参考として、適切な感染防止対策の徹底をお願いします。
- 高齢者施設や病院等については、感染防止のため直接面会を禁止とするようお願いいたします。また、従事者への適切な感染防止対策の徹底をお願いします。

(3) 接待を伴う飲食店における感染防止対策の徹底について

- パブ、ホストクラブ、キャバクラなど接待を伴う飲食店においては、「社交飲食業における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を遵守し、当該店舗における感染防止対策をホームページやSNS、店頭での掲示などにより利用者に明示してください。
 - ※「社交飲食業における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」については、全国社交飲食業生活衛生同業組合のHPを参照してください。
- 「ストップコロナ！対策認定制度」への申請・登録を行ってください。

(4) 勤務形態等について

- 「新しい生活様式の実践例」を参考に、テレワーク（出勤者の7割減を目標）やローテーション勤務、時差通勤、オンライン会議の開催など、人との接触を減らすための取組を実践してください。

(5) その他

- 従業員などが体調不良を訴えた場合には、休暇の取得を促し、併せて、速やかな医療機関への受診を促してください。
- 従業員に対し、会食などで飲食店などを利用する場合は、感染防止ガイドラインなどに基づいて感染防止策を講じているなどの店舗を利用するよう促して

ください。

- 接触確認アプリ（COCOA）のインストールやLINE「新型コロナ対策パーソナルサポート」を、従業員やお客様に対して積極的に活用するよう促してください。
- 感染の恐れのある者を特定できない場合には、まん延を防止する観点から、施設名を自ら公表して利用者に検査や受診を呼びかけること等に協力してください。

【別表：適切な感染防止対策例】

※以下に掲げる対策例以外にも、それぞれの施設の状況や営業の形態等に応じ、適切な感染防止のための対策を実践してください。

(別表) 適切な感染防止対策例	
発熱者等の施設への入場防止	・ 来訪者、従業員の検温・体調確認を行い、発熱等の症状がある者や体調不良の者の入場制限(来訪者)、出勤停止(従業員)
	・ 発熱等の症状がある者は、イベントの参加や施設の利用を控える
接触確認アプリの利用	・ 来訪者は、接触確認アプリをインストールをし、事業者は、それを促す
	・ 事業者は、来訪者の連絡先等を把握する(イベント開催の際には徹底すること)
3つの「密」(密閉・密集・密接)の防止	・ 店舗利用者の入場制限、滞在時間の制限を設ける
	・ 十分な座席間隔(四方を開けた席配置等)を確保する
	・ 入退出時、休憩場所、待合場所等での3密の環境を避ける
	・ 換気を行う(可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける)
	・ 密集する会議の中止(対面による会議を避け、電話会議やビデオ会議を利用)
飛沫感染、接触感染の防止	・ 来訪者、従業員のマスク着用(熱中症等対策が必要な場合を除く)、手指の消毒、咳エチケット、手洗いの励行
	・ 対面機会の削減(または、ビニールカーテン等の設置)
	・ 大声での会話が発生しない環境作り(利用者への呼びかけ、音響を最小限に設定等)
	・ 店舗・事務所内の定期的な消毒、キャッシュレスの利用
移動時の感染防止	・ ラッシュ対策(時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による出勤の推進)
	・ 従業員数の出勤数の制限(テレワーク等による在宅勤務の実施等)
	・ 出張の中止(電話会議やビデオ会議などを活用)、来訪者数の制限
	・ イベント参加(開催)にあたっては、移動中や移動先での感染防止のための行動を取る(よう呼びかける) ※イベントスタッフにも同様に呼びかける

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント

1. 基本的な感染防止対策の実施

- マスクを着用
(ウイルスを移さない)
- 人と人の距離を確保
(1mを目安に)
- 「5つの場面」「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を参考に
- 3密を避ける、大声を出さない

『5つの場面』

- 場面1：飲酒を伴う懇親会
- 場面2：大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面3：マスクなしでの会話
- 場面4：狭い空間での共同生活
- 場面5：居場所の切り替わり

2. 寒い環境でも換気の実施

- 機械換気による常時換気を
(強制的に換気を行うもので2003年7月以降は住宅にも設置。)
- 機械換気が設置されていない場合は、室温が下がらない範囲で
常時窓開け(窓を少し開け、室温は18℃以上を目安！)
また、連続した部屋等を用いた2段階の換気やHEPAフィルター付きの空気清浄機の使用も考えられる
(例：使用していない部屋の窓を大きく開ける)
- 飲食店等で可能な場合は、CO2センサーを設置し、二酸化炭素濃度をモニターし、適切な換気により
1000ppm以下(*)を維持
*機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。



CO2センサー

3. 適度な保湿(湿度40%以上を目安)

- 換気しながら加湿を
(加湿器使用や洗濯物の室内干し)
- こまめな拭き掃除を

各部局からの報告事項について

各部局からの報告事項は別添のとおりである。

別添資料

- ・ 緊急事態措置の解除に伴う県有施設の対応について

緊急事態措置の解除に伴う県有施設の対応について

緊急事態措置の解除及び全县での警戒度「4」の継続に合わせ、県有施設の対応を次のとおり変更します。

- 各施設とも感染防止対策（人数制限、予約入館、主催事業の中止等）を徹底した上で、開館します。
- 以下の施設は、閉館（「予約済のものは利用可」を含む）していましたが、10月1日から開館します。
 - ・群馬会館
 - ・昭和庁舎
 - ・群馬県民会館（バイシア文化ホール）
 - ・自然史博物館附帯ホール（かぶら文化ホール）
 - ・ぐんま男女共同参画センター
 - ・NPO・ボランティアサロンぐんま
 - ・消費生活センター
 - ・ぐんまこどもの国児童会館（金山総合公園内）
 - ・群馬県社会福祉総合センター
 - ・群馬県福祉マンパワーセンター
 - ・ふれあいスポーツプラザ
 - ・ゆうあいピック記念温水プール
 - ・野鳥の森施設（小根山森林公園内）
 - ・群馬県勤労福祉センター
 - ・Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）
 - ・群馬ヘリポート・ヘリコプター学習館
 - ・群馬県公社総合ビル
 - ・北毛青少年自然の家
 - ・妙義青少年自然の家
 - ・東毛青少年自然の家
 - ・生涯学習センター
 - ・群馬県青少年会館

No.	名称	緊急事態措置の解除後
1	群馬会館	・20時30分までの利用とする。 ・既に予約済みの利用については、主催者に時間短縮の検討を要請
2	昭和庁舎	・20時30分までの利用とする。 ・既に予約済みの利用については、主催者に時間短縮の検討を要請
3	近代美術館	・感染防止対策を徹底・周知 ・混雑時は入場整理券による入館制限を行う場合あり
4	館林美術館	・感染防止対策を徹底・周知 ・混雑時は入場整理券による入館制限を行う場合あり
5	歴史博物館	・感染防止対策を徹底・周知 ・事前予約制による一般観覧の受け入れ
6	自然史博物館	・感染防止対策を徹底・周知 ・事前予約制による一般観覧の受け入れ ・参加型イベント（企画展行事・ワークショップ等）は中止
7	土屋文明記念文学館	・感染防止対策を徹底・周知 ・混雑時は入場整理券による入館制限を行う場合あり
8	群馬県民会館（バイシア文化ホール）	・感染防止対策を徹底した上で開館
9	自然史博物館附帯ホール（かぶら文化ホール）	・感染防止対策を徹底した上で開館
10	世界遺産センター	・感染防止対策を徹底・周知 ・混雑時は入場整理券による入館制限を行う場合あり
11	史跡上野国分寺跡	・入館人数及び滞在時間を制限の上、感染防止対策を徹底・周知
12	観音山古墳	・石室は閉鎖
13	埋蔵文化財調査センター発掘情報館	・入館人数及び滞在時間を制限の上、感染防止対策を徹底・周知 ・参加型イベント（企画展行事・ワークショップ等）は中止 ・図書室は1回の入室を2人までに制限
14	総合スポーツセンター（ALSOKぐんま総合スポーツセンター）	・入館人数を制限の上、感染防止対策を徹底・周知
15	総合スポーツセンター伊香保リンク	・入館人数を制限の上、感染防止対策を徹底・周知
16	ライフル射撃場	・入場人数を制限の上、感染防止対策を徹底・周知
17	ぐんま男女共同参画センター	・利用人数の制限、感染防止対策の徹底を行った上で開館 ・夜間貸室利用中止（継続）
18	NPO・ボランティアサロンぐんま	・利用可能（入室時の検温、配置されている消毒剤で手指を消毒。マスク着用。会議での利用は3密を避ける。）

No.	名称	緊急事態措置の解除後
19	消費生活センター	・原則として、電話相談とする。 ・来所相談が必要な場合は、予約制で実施する。
20	ぐんまこどもの国児童会館 (金山総合公園内)	・入館者数の制限、感染予防策の徹底及びイベントの中止を行った上で開館
21	群馬県社会福祉総合センター	・感染防止対策を徹底した上で、通常どおり運営 ※ただし、夜間外出自粛要請期間中は、夜間会議室の貸出中止を継続
22	群馬県福祉マンパワーセンター	・感染防止対策を徹底した上で、通常どおり運営
23	ふれあいスポーツプラザ	・屋内施設の利用中止継続、屋外施設は利用再開 ・開館時間：9時～16時（消毒等のため、12時～13時は閉館）
24	ゆうあいピック記念温水プール	・利用再開 ・利用時間：10時～17時
25	赤城公園	・感染防止対策を行った上で開園 ・キャンプ場の利用は中止
26	榛名公園	・感染防止対策を行った上で開園
27	妙義公園	・感染防止対策を行った上で開園
28	野鳥の森施設（小根山森林公園内）	・利用可（遊歩道、屋外トイレのみ） ・建物の利用は中止
29	山の鼻ビジターセンター（尾瀬国立公園内）	・感染防止対策を行った上で開館 ・ビジターセンター主催の催しは中止
30	緑化センター・緑化センター 附属見本園	・感染防止対策を行った上で開館 ・県主催の催しは中止
31	群馬県憩の森・森林学習センター	・感染防止対策を行った上で開館 ・県主催の催しは中止
32	伊香保森林公園	・感染防止対策を行った上で開園 ・指定管理者主催の催しは中止
33	赤城森林公園	・感染防止対策を行った上で開園 ・指定管理者主催の催しは中止
34	赤城ふれあいの森（SUBARUふれあいの森 赤城）	・感染防止対策を行った上で開園 ・宿泊施設、バーベキュー施設、木工工作体験及び指定管理者主催の催しは中止
35	さくらの里	・感染防止対策を行った上で開園 ・きのこ館及び指定管理者主催の催しは中止
36	桜山森林公園	・感染防止対策を行った上で開園 ・指定管理者主催の催しは中止
37	みかぼ森林公園	・感染防止対策を行った上で開園 ・指定管理者主催の催しは中止
38	21世紀の森	・感染防止対策を行った上で開園 ・指定管理者主催の催しは中止
39	ぐんまフラワーパーク（カネコ種苗ぐんまフラワーパーク）	・感染防止対策を強化、徹底した上で営業 ・大規模イベント（キャラクターショー、花火）は中止 ・園内屋内施設（レストラン、売店、温室、フラワーホール）は、入場者数を制限
40	日本絹の里	・感染防止対策を徹底、入館者数を制限して開館 ・体験学習等は人数を制限して実施
41	馬事公苑	・感染防止対策を行った上で営業 ・ナイター乗馬の時間短縮（20時閉苑） ・更衣室の利用者数制限 ※1日のレッスン回数は6回から5回に変更済（令和3年4月1日から）
42	群馬県勤労福祉センター	・勤労福祉センターガイドラインに基づく感染対策を講じた上で利用可能
43	群馬県アンテナショップぐんまちゃん家	・所在地が東京都のため、都の要請等に基づき対応
44	利根川河川境運動場（伊勢崎市）	・野球場は感染リスクの低い屋外施設のため利用可。ただし、県外在住者には利用自粛を要請 ・なお、施設所在地である伊勢崎市の施設が利用休止となった場合にはその取扱いに準じる。

No.	名称	緊急事態措置の解除後
45	烏川河川玉村運動場（玉村町）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場、ＢＢＱ場は利用不可 ・野球場は感染リスクの低い屋外施設のため利用可 ・なお、施設所在地である玉村町の施設が利用休止となった場合にはその取扱いに準じる。
46	Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を講じた上で通常通り開館
47	群馬ヘリポート・ヘリコプター学習館	<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能（完全予約制・人数制限あり）
48	敷島公園	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を行った上で開園 ・スポーツ施設の団体利用の新規受付は中止
49	群馬の森	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を行った上で開園
50	金山総合公園	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を行った上で開園 ・ふわふわドームは利用中止
51	観音山ファミリーパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を行った上で開園 ・バーベキュー広場、ハンモック遊具、貸し出し遊具は利用を中止
52	多々良沼公園	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を行った上で開園
53	群馬県公社総合ビル	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を徹底した上で開館、新規予約の受付開始
54	玉村ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の短縮（20時まで）
55	前橋ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会、パーティー利用の中止
56	板倉ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランにおける感染防止（黙食の徹底）のためのレイアウト変更
57	新玉村ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽の使用を中止 ・ロッカールーム等の利用者数の制限
58	文書館	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧利用：事前予約制。人数・時間を制限の上、感染防止対策を徹底 ・展示観覧：事前予約制（15分間）。引き続いてインターネットによるオンライン観覧を推奨（全展示物がインターネット観覧可）
59	県立図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を徹底した上で開館 ・人数（25人以下）、時間（30分目安）、一部施設利用制限あり
60	生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を徹底した上で開館（夜間のみ新規予約不可）
61	ぐんま天文台	<ul style="list-style-type: none"> ・入館人数を制限の上、昼間のみ開館。感染防止対策を徹底 ・参加型イベントは中止
62	ぐんま昆虫の森	<ul style="list-style-type: none"> ・入館人数を制限の上、感染防止対策を徹底して開園 ・参加型イベント（里山歩き等）は中止
63	北毛青少年自然の家	<ul style="list-style-type: none"> ・主催事業を中止。感染防止対策を徹底し、日帰りの利用（家族に限る）、学校団体利用について受け入れる。
64	妙義青少年自然の家	<ul style="list-style-type: none"> ・主催事業を中止。受入事業は、感染防止対策を徹底し、家族（同居家族に限る）及び学校団体の日帰り利用について受け入れる。
65	東毛青少年自然の家	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を徹底し、日帰り利用の受入及び主催事業は行う。
66	群馬県青少年会館	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策を徹底した上で開館 ・会議室等の利用は午後8時まで（宿泊利用の受付を一時停止）